

●秋は、植物が美しく色づく季節です。朝晩が冷え込む時期になりました。日中との気温差に気を付けて、健康な体を作りましょう！

○甘い香りがするカツラの木

●カツラは、万葉集や古事記にもその名が登場し、古くから日本人に愛されている樹木です。ハート形の葉が特徴的で、秋になると黄葉し、カラメルのような甘い香りを漂わせます。

📖カツラの甘い香りの正体は？

カツラは葉が色づき始めるとマルトールという物質を生成します。マルトールは糖類を熱分解したときに生成される物質で、カラメルやパンなどを作るときなどに出る甘い香りの成分の一つです。



ツヤハダゴマダラカミキリの脅威

園内の駐車場に植栽されているカツラの木について、現在剪定処理を行っている樹木が多くあり、その原因として、ツヤハダゴマダラカミキリという2023年9月1日に新しく特定外来生物に指定された昆虫による食害があります。



○食べられる！？スダジイの実

●スダジイはブナ科の中でもドングリを付ける品種で、その実はアク抜きの必要がなくそのまま食べられます。日本では縄文時代からドングリを食べていて、戦後間もない食糧難の時代などは貴重な食料源でした。ちなみに秋の味覚であるクリもブナ科の植物で、縄文時代から食べられていたそうですよ。



○11月に咲くツワブキの花



●ツワブキは常緑の多年草で、ちょうど冬が始まる頃に黄色い花を咲かせます。日本では観賞用に日本庭園などに植栽されており、古くから親しまれている植物です。アクを抜いて食用にもできます。甘辛く煮込む保存食キャラブキの材料として、フキの替わりに使うこともあるそうですよ。



■今月の鳥 「アカゲラ」

アカゲラは全長約 24 cm、中型のキツツキの仲間です。白黒の体に下腹部の赤い差し色が目を引きます。「緋（かすり）※の着物に赤い腰巻」と昔は例えられていたそうです。また、オスの後頭部には赤い羽毛が生え、メスは頭部全体が黒色になっています。鳴き声は「キョッキョッ」や「ケケケケ」「ケレケレ」などと鳴きます。枯れ木をすばやくたたいて音を出す「ドラミング」も目印になります。これから葉が落ちる季節、姿も見つけやすくなるので、ぜひ耳を澄ませて探してみてくださいね。



※「緋（かすり）」とは、部分的に染めた織り糸を用いて、ところどころかすったような模様を織り出した織物。また、その模様のこと。

★古河公方公園公式アカウントを開設しました！

公園の様々な情報をアップしていますので、是非みなさまフォローをよろしくお願いいたします。

- Instagram @koga_kubou/
- X (旧 Twitter) @kubou_park

Instagramアカウント



X (旧Twitter) アカウント



●涼しい秋風をてくてく散歩しながら、紅葉、黄葉した公園の木々を楽しんでみませんか？

【発行】(一財)古河市地域振興公社 古河公方公園(古河総合公園) 〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

○てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索